千九百八十三年の国際コーヒー協定の有効期間の延長◎千九百八十九年七月三日に国際コーヒー理事会決議によって承認された

|略称||延長された一九八三年の国際コーヒー協定

国連への伝達	理事会	加入	暫定的適用の通告の扱い	受諾及び効力発生	有効期間延長	日 次										
							平成			平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
							一年			二年	二年	年	二年	元年	元年	元年
							七月			七月	七月	七月	六月]	九月一	十月	七月
							十七日			十七日	十七日	三日	六月二十一日	九月二十九日	一 日	三日
: 九九		: 九八	: 九七	: 九七	: 九七	ページ	我が国について効力発生	一九号)	(条約第四号及び外務省告示第三	公布及び告示	受諾書寄託	受諾の閣議決定	国会承認	暫定的適用通告	効力発生	ロンドンで作成

2

1

3

4

6 5

延長された一九八三年の国際コーヒー協定

九五

千九百 よって承認された千九百八十三年の国際 八十九年七月三日に国 際コーヒー コー 理 事会決議 F 1 協 定

有効期 間の延長

1 国際 九 千九百八十三年の国際コー コー 一年九月三十日まで二年 ヒー 理事会は、 次のとおり決議 間 E 1 延 長され 協定の有効期間 でする。 る。 は 千 九百

2 代 締約国政府であって千九百八十九年九月三十日までに国際連 より署名され るものとし、 12 件とする。 国政府が有効期間の延長 国の票の過半数を有する十以上の加盟輸入国 E の通告は、 たものの間で 合 玉 表者により署名されるも 委任状に基づいて行われる。 対し千九百八十九年九月三十日現在の票が配分される。 の票の 事務総長に対 際 1 コー の規定により有 当該国際機関の規 過半数を有する二十以上の加盟輸出国及び t 元首、 この2の 又はこれ 協定は、 た全権委任状に基づ し有効期間 効力を有する。 政 府 3効期間 規定の適用上加盟輸出国及び加盟輸入国 千九百八十三 らの者の の長若しくは外務 崱 (を受諾 のとし、 に従って正当に権限を与えられ の延長を受諾する旨の通告を行 の延長がされ 国際 する旨の通告を行うことを条 ただし、 ſΊ ずれかにより署名された全 いて行われ 年の 機関 又はこのような代表者に 国際 の場合には、 大臣により署名され 同日までに た千九 る。 を代表する締約 コー 百八十 <u>ا</u> 加盟輸 加盟輸出 その 協定 年 そ 通 入 つ 0) 0)

as

λq

3 玉 コ の 1 規定により有効期間 t 1 協定を暫定的 K の延長がされ 適用することを約束する旨の た千九百八十 年 締 0

> EXTENSION OF THE INTERNATIONAL COFFEE AGREEMENT 1983
> APPROVED BY THE INTERNATIONAL COFFEE COUNCIL IN ITS RESOLUTION ON 3 JULY 1989

K

の

INTERNATIONAL COFFEE COUNCIL RESOLVES

THE

period of two That the International Coffee Agreement 1983 shall be extended for years to 30 September 1991

full State Members and at least 10 importing Members holding a majority of the votes with authorized in accordance with the rules of the organization, acceptance of among least 20 exporting Members holding a majority of the votes of the exporting at 30 September 1989. the importing Members. 30 the provisions of paragraph 1 of this Resolution shall remain in force That the International Coffee Agreement 1983 as Extended in accordance or Government, or Minister for Foreign Affairs, September those signed by Contracting Parties to the Agreement which the notification shall be signed such extension to the one of the ı. g Such notifications shall be signed by the Head The votes for this purpose shall be calculated foregoing. that date such Contracting Parties represent at Secretary-General of In the organization, or made under by a representative duly case of. or an have notified their the United Nations international

apply provisionally the Agreement as hereby extended, which is received That a notification by a Contracting Party containing an undertaking

powers signed by such a representative.

ö

延長された一九八三年の国際コー

ヒー

-協定

国の 約国 の参加を終止 又は当該同日よりも遅い日に有効期間 しなかった場合には、 該締約国 もっとも、 る旨の通告と同等の効力を有する。 九月三十日までに受領するも は国際コーヒー理事会の決定する同日よりも遅 有 政 するすべての権利を有し、かつ、すべての義務を負う。 府 政府 の通告であって国際連合事務総長が千九百八十九 国際連合事務総長が千九百九十年三月三十一日又 する。 から有効期間の延長を受諾する旨の通告を受領 当 一該締約国政府は、 のは、 当該締約国 有効期 の延長がされた協定 間 同年三月三十一日 0) 延長 |政府は、 77 日までに当 人を受諾 加盟 す

às

際コー 束することを条件として、 年十月一日に遡及して履行することを加入書の寄託 間 び3に規定する受諾の通告を行 の 延長 の延長がされた協定に基づくすべての義務を千九百 千九百八十三年の国 E がされた協定に加入することができる。 理事会の決定する同日よりも遅い日まで有効期間 際 コー 千九百九十年三月三十一日又は国行することを加入書の寄託の際に約 t わなかった場合 1 協定の締約国政 には、 府 は 有効期 八十九 2 及

5 効期間 される。 がとった措置を考慮して加盟状況を検討し及び次 いて決定するため千九百八十九年十 理事会の会期は、 の延長に関する2及び3の規定に基づいて締約国政 千九百八十三 一年の国際 月二日 際コー から六日まで招 t の事項につ] 協 定 0 府 集 有

る 有効期 !の協 は 間 千 0) 定 延長 九百八十九一 0 有 ひがされ 効 期 間 た協定 の -千九百-延 長 6 0 運用 九十コ ため 0 1 要 件 L 1 が 年度にお 満 たされ

け

た

(a)

by the Secretary-General of the United Nations not later than 30 of the 1989, Party shall enjoy all received by the Secretary-General of the United Nations by 31 March 1990 or uch later date as of that date cease to participate in the shall be International Coffee However, if formal notification of acceptance has not regarded as the Council may the rights equal Agreement 1983 as Extended. and assume all the obligations 'n. determine, such Contracting Party shall effect to a notification of acceptance Agreement

paragraphs 2 and 3 of this Resolution, may accede to the Agreement undertakes to fulfill all its previous obligations under the Agreement with that on depositing its instrument of accession such Contracting Party retroactive effect from 1 October 1989 March 1990 or That any not Contracting Party to the made the notifications of such later date as the Council may determine on condition International acceptance provided Coffee Agreement

which

order to examine the situation of membership in the Resolution in ö by Contracting Parties under the convene a Session of the Council from 2 to 6 October respect of the extension of the Agreement provisions of paragraphs 2 light of the action and 3 of

'n

n. operation of the Agreement in coffee year 1989/90; have been met, to take decisions regarding the requirements for of.

6

事務局長は、この決議を国際連合事務総長に伝達する。

五〇九号参照

の有効期間を二年間延長するものである。

この延長は、千九百八十三年の国際コーヒー協定(昭和五十八年多数国間条約集及び条約集第三

- 行の協定が効力を有する状態を継続させることの当否及 び継続させる場合には国際コーヒー 2及び3に規定する通告を行った締約国政府の間で現
- iii! 算を行うための措置をとることの当否 第六十八条4)の規定に基づいて国際コー ヒー 機関の清
 - するための条件又は 機関を引き続き運営

in the event that the requirements for the extension of the Agreement have not been met, to decide:

(3

- whether the Agreement should continue in force among the Contracting Parties which have made the notifications
- if so to establish the conditions for the continued provided for in paragraphs 2 and 3 of this Resolution and
- whether to make arrangements for the liquidation of the Organization in accordance with the provisions of

(ii)

operation of

the Organization;

Secretary-General of the United Nations. To instruct the Executive Director to convey this Resolution to the

paragraph (4) of Article 68 of the Agreement.

延長された一九八三年の国際コーヒー協定